



2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年7月31日

上場会社名 住友ファーマ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4506 URL <https://www.sumitomo-pharma.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 野村 博
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 コーポレートコミュニケーション担当（氏名） 野口 直記 (TEL) 06-6203-5321
 四半期報告書提出予定日 2023年8月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	75,686	△52.7	△33,511	—	△51,567	—	△38,862	—	△38,865	—	13,022	△82.6
2023年3月期第1四半期	159,876	21.9	13,390	57.2	14,614	75.9	28,091	—	31,108	547.8	74,839	—

(参考) 税引前四半期利益 2024年3月期第1四半期 △31,052百万円 2023年3月期第1四半期 46,610百万円

※コア営業利益は、営業利益から当社が定めた非経常的な原因による損益（調整項目）を除いて算出しています。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 △97.82	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	78.30	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
2024年3月期第1四半期	百万円 1,140,702	百万円 417,023	百万円 416,987	% 36.6	円 銭 1,049.57
2023年3月期	1,134,742	406,782	406,749	35.8	1,023.80

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 14.00	円 銭 —	円 銭 7.00	円 銭 21.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	362,000	△34.8	△62,000	—	△78,000	—	△80,000	—	△201.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) Myovant Sciences Ltd.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期第1四半期	397,900,154株	2023年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	2024年3月期第1四半期	608,688株	2023年3月期	608,365株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期第1四半期	397,291,552株	2023年3月期第1四半期	397,292,798株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれていません。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標などが記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通しなどが記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件などにつきましては、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・医薬品・医療機器(開発中のものを含む)に関する情報が含まれていますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- ・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算説明会資料を開示しています。
- ・当社は、2023年7月31日(月)に機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向けに、第1四半期決算説明会を開催する予定です。この決算説明会の音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、国際会計基準（以下「IFRS」）に準拠した連結財務諸表を開示しています。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

(1) 経営成績に関する説明

(業績管理指標「コア営業利益」について)

当社グループでは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しています。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものととなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

当第1四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、以下のとおりです。

(単位：億円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	増減	増減率 (%)
売上収益	1,599	757	△842	△52.7
コア営業利益	134	△335	△469	—
営業利益	146	△516	△662	—
税引前四半期利益	466	△311	△777	—
四半期利益	281	△389	△670	—
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	311	△389	△700	—

■ 売上収益は757億円（前年同四半期比52.7%減）となりました。

非定型抗精神病薬「ラゾーダ」の米国での独占販売期間が終了した影響や、住友ファーマフード&ケミカル株式会社の全株式を譲渡したことに伴い、同社が当社グループ傘下でなくなったことなどにより、減収となりました。

■ コア営業損益は335億円の損失（前年同四半期比469億円の減益）となりました。

販売費及び一般管理費の減少に加え、住友ファーマニマルヘルス株式会社の株式譲渡によるその他の収益の計上がありました。減収による売上総利益の減少の影響が大きく、コア営業損失となりました。

■ 営業損益は516億円の損失（前年同四半期比662億円の減益）となりました。

コア営業損失に加え、北米グループ会社の再編に伴う事業構造改善費用を計上したことにより、営業損失となりました。

■ 税引前四半期損益は311億円の損失（前年同四半期比777億円の減益）となりました。

円安による為替差益の計上がありました。営業損益の減益の影響が大きく、税引前四半期損失となりました。

■ 四半期損益は389億円の損失（前年同四半期比670億円の減益）となりました。

税引前四半期損益が減益となったことにより、四半期損益についても減益となりました。

■ 親会社の所有者に帰属する四半期損益は389億円の損失（前年同四半期比700億円の減益）となりました。

四半期損益の減益の影響が大きく、非支配持分に帰属する利益を控除した親会社の所有者に帰属する四半期損益も減益となりました。

(セグメント業績指標「コアセグメント利益」について)

セグメント別の業績では、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しています。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法を変更したことに伴い、前第1四半期連結累計期間についても変更後の報告セグメント区分に組み替えて比較を行っています。当該報告セグメントの変更の詳細は、「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) (2) 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

<日本>

■ 売上収益は304億円（前年同四半期比41.7%減）となりました。

「ラツダ」や2型糖尿病治療剤「ツイミーグ」など売上が伸長しましたが、2022年12月に2型糖尿病治療剤「トルリシティ」の販売提携が終了したことに加え、前年同四半期にはライセンス契約の契約一時金の売上収益計上があったことや、当第1四半期は2023年3月末に住友ファーマフード&ケミカル株式会社の全株式を譲渡したことに伴い、同社が当社グループ傘下でなくなったことなどから、減収となりました。

■ コアセグメント利益は28億円（前年同四半期比68.0%減）となりました。

減収による売上総利益の減少により、減益となりました。

<北米>

■ 売上収益は355億円（前年同四半期比62.7%減）となりました。

進行性前立腺がん治療剤「オルゴピクス」、子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「マイフェンブリー」、過活動膀胱治療剤「ジェムテサ」の売上は伸長しましたが、「ラツダ」の米国での独占販売期間が2023年2月に終了した影響が大きく、減収となりました。

■ コアセグメント損益は237億円の損失（前年同四半期比468億円の減益）となりました。

ラツダの独占販売期間終了等に伴い販売費及び一般管理費は減少しましたが、減収による売上総利益の減少の影響が大きく、減益となりました。

<アジア>

■ 売上収益は99億円（前年同四半期比22.1%減）となりました。

中国において、薬剤費抑制策の影響を受けたカルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」の売上減少の影響が大きく、減収となりました。

■ コアセグメント利益は43億円（前年同四半期比26.0%減）となりました。

減収による売上総利益の減少により、減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、非流動資産では、為替換算の影響によるのれんや無形資産の増加に加え、当社が保有する投資有価証券の公正価値評価の変動等によりその他の金融資産が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ670億円増加しました。

流動資産は、現金及び現金同等物やその他の金融資産が減少した結果、前連結会計年度末に比べ611億円減少しました。

これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ60億円増加し、1兆1,407億円となりました。

負債については、借入金等が増加しましたが、引当金や未払法人所得税等が減少した結果、前連結会計年度末に比べ43億円減少し、7,237億円となりました。

資本合計は、利益剰余金が減少しましたが、円安等の影響もありその他の資本の構成要素が増加した結果、前連結会計年度末に比べ102億円増加し、4,170億円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は36.6%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期損失となったことに加え、引当金が減少したことや法人所得税の支払額が増加したことなどにより、前年同四半期に比べ1,434億円収入が減少し、1,302億円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却や住友ファーマアニマルヘルス株式会社の株式譲渡に伴う子会社の支配喪失による増加等により、前年同四半期に比べ160億円収入が増加し、385億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加等により、前年同四半期に比べ402億円収入が増加し、336億円の収入となりました。

上記のキャッシュ・フローに、現金及び現金同等物に係る換算差額および売却目的で保有する資産への振替額を加えた結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は945億円となり、前連結会計年度末に比べ490億円減少しました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2023年5月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	159,876	75,686
売上原価	46,056	30,430
売上総利益	113,820	45,256
販売費及び一般管理費	77,289	74,891
研究開発費	24,422	27,844
その他の収益	2,788	6,335
その他の費用	283	423
営業利益 (△は損失)	14,614	△51,567
金融収益	32,879	21,315
金融費用	883	800
税引前四半期利益 (△は損失)	46,610	△31,052
法人所得税	18,519	7,810
四半期利益 (△は損失)	28,091	△38,862
四半期利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者持分	31,108	△38,865
非支配持分	△3,017	3
四半期利益 (△は損失)	28,091	△38,862
1株当たり四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失)	78.30	△97.82

【要約四半期連結包括利益計算書】

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益 (△は損失)	28,091	△38,862
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	△2,283	28,971
確定給付負債 (資産) の純額の再測定	—	△2
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目：		
在外営業活動体の換算差額	48,903	22,915
キャッシュ・フロー・ヘッジ	128	—
その他の包括利益合計	46,748	51,884
四半期包括利益合計	74,839	13,022
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	70,322	13,019
非支配持分	4,517	3
四半期包括利益合計	74,839	13,022

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	58,909	60,050
のれん	209,415	227,371
無形資産	329,314	350,985
その他の金融資産	134,007	159,411
未収法人所得税	6,042	6,560
その他の非流動資産	4,350	4,627
繰延税金資産	10,845	10,900
非流動資産合計	752,882	819,904
流動資産		
棚卸資産	94,405	101,482
営業債権及びその他の債権	95,908	95,774
その他の金融資産	20,174	6,262
未収法人所得税	2,722	2,896
その他の流動資産	17,675	19,909
現金及び現金同等物	143,478	94,475
小計	374,362	320,798
売却目的で保有する資産	7,498	—
流動資産合計	381,860	320,798
資産合計	1,134,742	1,140,702

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	244,128	244,170
その他の金融負債	11,869	13,034
退職給付に係る負債	5,008	4,875
その他の非流動負債	57,756	48,853
繰延税金負債	36,505	49,129
非流動負債合計	355,266	360,061
流動負債		
借入金	90,588	127,617
営業債務及びその他の債務	52,141	46,329
その他の金融負債	7,010	7,278
未払法人所得税	24,053	9,475
引当金	119,083	93,071
その他の流動負債	78,013	79,848
小計	370,888	363,618
売却目的で保有する資産に 直接関連する負債	1,806	—
流動負債合計	372,694	363,618
負債合計	727,960	723,679
資本		
資本金	22,400	22,400
自己株式	△682	△682
利益剰余金	280,999	246,293
その他の資本の構成要素	103,357	148,976
売却目的で保有する資産に 関連するその他の包括利益	675	—
親会社の所有者に帰属する持分合計	406,749	416,987
非支配持分	33	36
資本合計	406,782	417,023
負債及び資本合計	1,134,742	1,140,702

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定	在外営業活動体の換算差額
2022年4月1日残高	22,400	16,725	△681	514,210	23,838	—	31,273
四半期利益	—	—	—	31,108	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,283	—	41,369
四半期包括利益合計	—	—	—	31,108	△2,283	—	41,369
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△5,562	—	—	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	362	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△671	671	—	—
所有者との取引額等合計	—	362	△0	△6,233	671	—	—
2022年6月30日残高	22,400	17,087	△681	539,085	22,226	—	72,642
2023年4月1日残高	22,400	—	△682	280,999	39,260	—	64,097
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△38,865	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	28,971	△2	22,915
四半期包括利益合計	—	—	—	△38,865	28,971	△2	22,915
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△2,781	—	—	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	675	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	6,265	△6,267	2	—
所有者との取引額等合計	—	—	△0	4,159	△6,267	2	—
2023年6月30日残高	22,400	—	△682	246,293	61,964	—	87,012

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		売却目的で保有する資産に関連するその他の包括利益	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	合計				
2022年4月1日残高	123	55,234	—	607,888	65,681	673,569
四半期利益	—	—	—	31,108	△3,017	28,091
その他の包括利益	128	39,214	—	39,214	7,534	46,748
四半期包括利益合計	128	39,214	—	70,322	4,517	74,839
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	—	△5,562	—	△5,562
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	362	1,206	1,568
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	671	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	671	—	△5,200	1,206	△3,994
2022年6月30日残高	251	95,119	—	673,010	71,404	744,414

2023年4月1日残高	—	103,357	675	406,749	33	406,782
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△38,865	3	△38,862
その他の包括利益	—	51,884	—	51,884	—	51,884
四半期包括利益合計	—	51,884	—	13,019	3	13,022
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	—	△2,781	—	△2,781
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	△675	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	△6,265	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△6,265	△675	△2,781	—	△2,781
2023年6月30日残高	—	148,976	—	416,987	36	417,023

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益 (△は損失)	28,091	△38,862
減価償却費及び償却費	11,518	9,215
子会社株式売却益	—	△5,890
受取利息及び配当金	△837	△1,214
支払利息	747	712
法人所得税	18,519	7,810
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△6,139	4,757
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,957	△734
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	4,839	△10,995
前受収益の増減額 (△は減少)	△3,369	△4,305
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	△3,248	△30
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16	△161
引当金の増減額 (△は減少)	9,388	△34,336
その他	△40,956	△32,295
小計	20,526	△106,328
利息の受取額	243	794
配当金の受取額	579	418
利息の支払額	△216	△260
法人所得税の支払額	△7,943	△24,785
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,189	△130,161
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,352	△2,549
有形固定資産の売却による収入	181	318
無形資産の取得による支出	△1,607	△1,726
投資の取得による支出	△2,506	△1,481
投資の売却及び償還による収入	584	22,822
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	27,241	10,000
子会社の支配喪失による増減額 (△は減少)	—	11,074
その他	908	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	22,449	38,458
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	559	37,029
長期借入金の返済による支出	△740	—
リース負債の返済による支出	△1,130	△893
配当金の支払額	△5,488	△2,736
その他	155	166
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,644	33,566
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	28,994	△58,137
現金及び現金同等物の期首残高	202,984	143,478
売却目的で保有する資産への振替に伴う 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	1,135
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,465	7,999
現金及び現金同等物の四半期末残高	255,443	94,475

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しています。

(セグメント情報等)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しています。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

(1) 報告セグメント

当社グループは、主として医療用医薬品の製造、仕入及び販売を行っており、日本、北米、アジアのマーケットごとに医薬品事業の業績管理を行っているため、日本、北米、アジアの3つを報告セグメントとしています。

なお、当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成要素のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントを日本、北米、中国、海外その他の4つとしていましたが、中期経営計画2027の策定に伴い、当社グループの経営状況をより適切に示すため、当第1四半期連結会計期間より、日本、北米、アジアの3つの報告セグメントに変更しました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成しています。

(3) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失は、以下のとおりです。

なお、当社グループでは、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しています。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

① 前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	日本	北米	アジア	計
外部顧客への売上収益等	52,070	95,155	12,651	159,876
セグメント利益 (コアセグメント利益)	8,869	23,082	5,837	37,788

② 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	日本	北米	アジア	計
外部顧客への売上収益等	30,366	35,466	9,854	75,686
セグメント利益（△は損失） （コアセグメント利益（△は損失））	2,839	△23,733	4,320	△16,574

(3) 報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

調整額に関する事項は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

利益	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
報告セグメント計	37,788	△16,574
研究開発費（注1）	△24,422	△22,815
事業譲渡益	—	5,890
その他	24	△12
コア営業利益（△は損失）	13,390	△33,511
事業構造改善費用（注2）	△1,124	△18,052
その他の収益	2,764	457
その他の費用	△283	△423
その他	△133	△38
要約四半期連結財務諸表の営業利益（△は損失）	14,614	△51,567

(注) 1 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。なお、要約四半期連結損益計算書における研究開発費との差額は、コア営業利益の算定から除外される研究開発関連費用です。

2 事業構造改善費用は、北米グループ会社の再編に関連する退職金等の費用です。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。